

主要行等の平成 21 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、業務粗利益の伸び悩みにより、ほぼ前年同期並み。
- 中間純利益は、保有株式の減損処理や不良債権処理の減少などにより、前年同期に比べ 53.4%増益。

(単位：億円)

	19 年 9 月期	20 年 9 月期	21 年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	33,162	31,511	31,282	▲229
資金利益	20,450	21,026	21,703	677
役務取引等利益	7,422	6,264	5,766	▲498
債券等関係損益	183	440	1,310	869
うち、債券等償却(▲)	▲279	▲453	▲86	367
実質業務純益	16,103	13,794	14,396	602
不良債権処理(▲)	▲4,042	▲7,798	▲6,027	1,772
株式等関係損益	20	▲1,791	80	1,871
うち、株式等償却(▲)	▲2,038	▲3,272	▲936	2,336
中間純利益	8,306	3,345	5,131	1,786

(参考)

	19 年 9 月期	20 年 9 月期	21 年 9 月期
貸出金	244.3 兆円	253.4 兆円	248.8 兆円

(注) 貸出金は銀行勘定計

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 21 年 3 月期に比べ増加、不良債権比率も上昇。

	20 年 3 月期	21 年 3 月期	21 年 9 月期
不良債権額	3.9 兆円	4.8 兆円	5.2 兆円
不良債権比率	1.38%	1.66%	1.89%

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は 21 年 3 月期に比べ上昇。

	20 年 3 月期	21 年 3 月期	21 年 9 月期
自己資本比率	12.30%	12.42%	14.32%

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示。

(注2) 業務粗利益、実質業務純益、不良債権処理、株式等関係損益及び中間純利益は、一部の銀行において再生専門子会社及び株式保有専門子会社の計数を含む。

(注3) 19年9月期の計数については、業績修正を行った銀行があるため、過去の当庁公表数値と異なる。